



## 地域づくりと町内会活動

平岡地区町内会連合会 会長 大橋 良一

もあります。

私は、前大山会長（故人）のあとを継いで2期4年（代行を除く）を経て今年は5

あります。  
地域の人による地域のための・地域づくりの活動をつくると言えば、それは町内会（自治）活動の原点であり、まちづくりの要で

取り組みの筋道をよく吟味し、より多くの智恵を結集し、その過程に生じる悩みや喜びを共感しながら、

「人とひと・人と自然とものづくり」  
人が集まって「まち」をつくり、そこで暮らしながら、いつそう居心地の良さや潤いをもとめはじめます。あるものは行政に要望し、あるものは自分たちの智恵と力で実現しようと……。それは、自分たちの「まち」を識るところからはじまり、ああでもない……こうでもないと智恵をひねり、「やってみようか……」「多少の無駄も覚悟で動き出す、そんな勇気こそ「まち」を創るエネルギーを生み育てるのだろうと思うのです。

（広報部）

# ひらおか

平岡地区町内会連合会  
清田区平岡7条3丁目9-25  
平岡地区会館内  
☎ 883-7100  
発行責任者 大橋 良一  
編集責任者 渡辺綱太郎

慌てず弛まず活動を続けていきたいと思うのです。  
ここ数年、国も地方も経済事情はよくありません。  
そうした状況下にあっても、行政も地域も萎縮せず互いに思うところを出しあって

さらには変わらぬご協力を惜しまなかつた地域の方々に心より感謝申し上げます。  
町内会は、単に「一定の地域に生活している“それ以外にはさして共通するものがない不特定多数群に他なりません。  
しかし、多数が生活するが故に生じる街灯やごみ・除雪・ボランティア活動や「祭り」などのお楽しみ行事など、地域生活の便宜や防災・安らぎのある環境づくりが出来ないものか：などの願望や社会事情の変化などに伴い地域にもいろいろな問題が派生します。  
私たち町内会の自主活動は派生する事柄の質をよく検討し

## 「まちづくり」のネットワーク

平岡まちづくりセンター 所長 元木 朗



今年の4月に当センターに赴任してから早いもので5か月になりますが、まだまだ慣れないこと多く、皆さんにご迷惑をかけていると思いますが、今後ともよろしくお願ひいたします。

さて、皆さんご承知のように昨年度から、これまでの「連絡所」から「まちづくりセンター」へ改編いたしました。  
まちづくりセンターは、

そのために、地域で活動しているいろいろな団体のネットワーク形成活動を促進して、地域の方々の主体的な地域課題解決や魅力向上などのまちづくり様々な



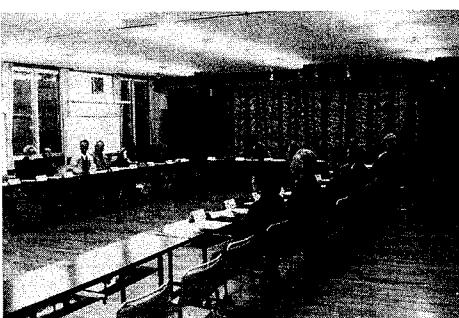
「福まち」研修会

のと思っています。

活動を側面から支援し、情報の共有・交流などを通じて一緒になつてまちづくりを推進していきたいと考えています。ただやはり、地域活動の中心となるのは、これまでも、またこれからも町内会組織であると思っています。

### ◎ごみを減らそう

平岡地区の「ごみの減量化事業」について昨年度は、リサイクル施設の視察、フリーマーケット、ごみステーションの実態調査、エコクッキングなど幅広い事業を実施いたしました。



「町連」理事会

管理している札幌市公園緑化協会さんは、植物観察ツアーやにぎわいフェスティバルなど毎年魅力的なイベントが企画されており手軽に平岡公園の自然を満喫することができます。今後、こうしたことを地域とタイアップして行なうことが出ければ平岡公園の魅力度もよりアップするのではないかと思います。

今年度の具体的な事業内容については、これから皆さんと協議させて戴くこととなります。一つは、すでに回覧等でご存じの方も多いと思いますが、次代を担う地区内の小・中学生にごみ減量化・リサイクルの大切さを学んでいたく取り組みを行うことや、昨年度の取り組みをふまえてもう一歩進んだことを実施していきたいと考えています。

### ◎梅公園だつて

平岡公園は、申すまでも

なく、緑豊かな清田区にあります。その規模と魅力は有数のものであり、約千二百本の梅の木の開花時期には、とても多くの方が来園される貴重な公園があります。

毎年、「町連」では公園内で三里川清掃を実施し、貴重な自然を守る努力をされています。また、公園を

### 今年の札幌市総合防災訓練

練は清田区が当番となり、

去る九月一日（木）に、イ

オン札幌平岡店駐車場を中

心に隣接する春風台町内会

街区と札幌平岡高校の三会

場で参加人員約三、二〇〇

人の規模で九時三十分から

十一時三十分まで実施され

ました。この訓練は、札幌

市域直下の地震発生を想定

して札幌市、防災関係機関

をはじめ、事業所、各種団

体及び住民が総合的かつ実

践的な訓練を実施して地域

住民や地元企業などが防災

を自分たちの地域の問題と

して取り組んでいくための

意識啓発を推進するなど、地元の特性を生かすことはもとより、札幌市民の安全と安心を高めることを目的としています。

訓練内容は四つの重点項



清田区市民部 総務企画課長 米谷 和則



訓練を見守る右から上田市長、中野区長、高森市民部長

## 平成十七年度 札幌市総合防災訓練を終えて



3200名参加の防災訓練

「訓練」で小学生、高校生にも体験学習を通じて防災への知識習得ができる訓練です。今回の訓練が平岡地区で実施されたことから多勢の町内会の住民に参加をいただき実際さながらに真剣に取り組んでいただき有り難うございました。

災害はいつ起きるかわかりません。常に危機意識を持ち災害に備えるためには、普段からの心構えと地道な訓練の積み重ねが大切であると考えます。そのことが、災害発生時の被害を最小限に抑え生命と財産を守るためにつながります。

このたびの訓練をとおして被災時の対応など災害に対する意識がさらに高められ、万一の災害時に生かされることを願っております。 清田区まちづくりビジョン 二〇二〇の基本目標の中に

**自分達の街は  
自分達で守る**

清田消防署警防課

消防課長

東海林  
亨

日本全国に衝撃をもたらした未曾有の大災害「阪神淡路大震災」から十年の歳月が経過しましたが、その後も全国各地で大規模な地震災害が相次いで発生しており、その都度、地震災害

とが求められています。  
さて、今年度の「札幌市  
総合防災訓練」において、  
初めての試みとして「発災  
対応型訓練」を取り入れた  
ことが特徴として挙げられ  
ます。

その一つに、自主防災組織の結成強化が全国的に叫ばれてきたところであり、本市をいたしましても、町内会を単位とした組織での結成を推進してまいりまし

は、実際の住宅街区内（春風台町内会、石川孝治会長）で実施したもので、被害の状況を自らが収集し、自ら考えながら行動するという実災害に直結した実践的な訓練であります。

連合会の皆様と同町内に所  
在する平岡高等学校の生徒  
さんにこの訓練に参加して  
いただきました。被害状況  
の情報収集本部の立ち上げ  
バケツリレー・消化器によ  
る消火訓練、倒壊家屋から  
の負傷者の救出、担架で応  
急救護所まで搬送する救護  
訓練などの各訓練では、町  
内会の皆様と平岡高等学校  
の生徒さんとの間に世代を  
超えた協力の輪が広がり、  
とても楽しく、微笑ましく  
目に映る光景でありました  
また、この訓練に参加さ  
れた方々からは、「実災害  
時に役立つ実践に即した大  
変有意義な訓練であり、と  
ても参考になつた。」との  
声を多く伺つたところでも  
ありました。



## 発災対応型訓練の救護活動

## 防災訓練を機会として

平岡地区町内会連合会 防災部長 大宮 幸夫

災害はいつやつてくるか  
はわかりません。「自分達  
の街は自分達で守る」とい  
う精神を不変のものとして  
いただきまして、万一の災  
害時には地域住民の方お一  
人おひとりが的確に対応し  
ていただき、被害を最小限

自主防災組織を中心にこの「発災対応型訓練」が継続的に実施され、更なる防災対応力の強化を図つていただき、「災害に強い街づくり」にご協力を願い申し上げたいと考えております。

月一日の札幌市総合防災訓練にさいしまして、「町連」防災部の事業計画として各単位町内会の皆様には、ご理解と大層なご協力を戴き誠に有り難うございました

いても自然はあって  
つ来るとも知れない」心構えを心のどこかで準備しておかなくてはいけないことがあります。

特に、これから高齢者を抱える地域社会にあつて

この様な大規模訓練は、  
清田区では十年に一度しか  
参加することが出来ないと  
いう貴重なものでした。そ  
れだけに、今回は防災のた  
めの教訓を得る大変に良い  
機会でしたし、災害に対す  
る心構えや実体験もするこ

特に、これから高齢者を抱える地域社会にあっては、この先、災害には大小さまざまありますが、雨、風、地震、火災、事故等の起こうりうることを「想定しない」ことを、この度の合訓練を体験して強く感じました。

ヒロセ

幸いにして、私たちの平



入り口と坂東委員長

相談に当たる人は、地区的保護司の方、児童相談所で相談員をされていた方、「ふれ愛梅の実広場」の福祉推進員（民生児童委員及び各「単町」推進の推進委員）の方々です。

この春、清田区及び区社会福祉協議会のご配慮があり、合わせて平岡「町連」の尽力によって障がい者用トイレスの改裝も成って、地区会館の環境の整ったこれを期に、この六月から、地域への福祉啓蒙活動の出先として「福祉相談窓口」を開設いたしました。

普段何気なく過ごしている生活の中から、より健康的で、しかも文化性の向上を図っていくヒントや手立てを考えたり工夫したりするものが「福祉相談」の目的です。どうぞお気軽に外出ください。

今年も8月28日、平岡小学校体育館において、およそ400人を越す親子が集い楽しい2時間をお過ごしました。

今、振り返って見ますと全く遊具も道具も無いなか

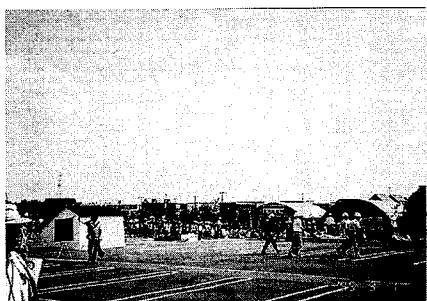
部の事業計画に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

福祉のまち推進センター 運営委員長 坂東夫佐子

## 『福祉相談窓口』を開設

今一度、災害に対する認識を深めると同時に、日常の防災意識を今回の訓練を契機に、地域の自主防災運動として強めていかなければならぬと思いました。

最後に、各单位町内会の会長さん・防災部長さんは、今後とも「町連」防災部の事業計画に一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



倒壊家屋からの救出作戦

岡地区は、大きな山や川もなく住み良い環境ではありますが、地震などは、いつ何時にやつてくるかわかりません。常に自然との戦いです。

員）の方々です。

十月からは、曜日を変更して毎週火曜日午前9時～12時まで2名の担当者が推進センター室（ロビー左側）に詰めています。

6月3日は、2人の方が来られました。話題は、日頃それとなく触れ合っている隣近所の方とのお付き合いの中でも、もの見方や考え方をチョット変えてみると、それだけで従来からの付き合いや暮らし方にいろいろな変化が生じ、結果的には「ささやかな安らぎや楽しさ」が生まれたというものでした。

普段何気なく過ごしている生活の中から、より健康的で、しかも文化性の向上を図っていくヒントや手立てを考えたり工夫したりするものが「福祉相談」の目的です。

## 平岡キッズまつり

平岡地区民生委員・児童委員協議会 副会長 西川 幸子



「札幌市児童委員活動強化推進方策」いわゆるアクションプランは、平成14年から2年間を行動強化期間として「地域の親子100人と知り合い、支え合おう」と始めた札幌市の運動でした。

私たち平岡地区民生委員・児童委員は、平成14年プラン施行の年に地域の親子との触れ合いの場として、「キッズ祭り」のプランを児童委員を中心に検討しました。

その年から、子育て推進課、「福まち」推進センター、学校、そして中・高校生のボランティア等地域の心ある団体や個人の方々の応援を得、小学校の体育館をお借りして「キッズ祭り」を実施してきました。



開場とともに大忙しの受けつけ

区の地域保健課、保健福祉サービス課などの励ましや応援をえまして、「民児協」の仲間たちが手作りで準備を進めました。

発泡スチロールに魚の絵を描き、それを切つて魚つりの魚にしました。アンパンマン、キティちゃんの

お面作りなど、汗を流しながらポップコーンや綿飴作りを担当した部員さん達、むかし遊びを復習する人、駄菓子屋さんになる人など

児童会館（初回会場）いつぱいに可愛い・楽しいお店が並びました。その初回は、100人ほどの親子が会場を盛りあげてくれました。



紙工作に熱中の親子



大賑わいの体育館

3回・4回と開催すること

が出来、たくさんの機関やボランティアのお手伝いなども大きく広がってきています。小・中・高・大学生、PTA、児童会館、介護センターや子育て支援セ

ンター等の数々の暖かいご協力も戴いております。また、今年は御神輿のご寄贈もあり、子ども用の法被も用意して行事の最後にお神輿が繰り出しお祭り気分を盛り上げました。

今後、こうした行事を通して子ども達が、健康で明るい仲間となつて成長して欲しいと思つています。

今年は、初回の参加数の4倍にも膨らんだ地域の親子に、大変な力強さを感じました。

終わりに、家庭・学校・地域が一体となつて、未来に向かつて育つていく子ども達を、地域の皆さんと一緒に見守つて上げたい気持ちを一層強くしています。今後とも、ご支援の程よろしくお願ひいたします。

## 学校を訪ねて

### 北海道札幌平岡高等学校 を訪ねました

昭和62年4月1日、北海道札幌平岡高等学校開校。4月8日、北海道有朋高等学校にて開校式並びに第一回入学式挙行。6月27日旧教育大学札幌校の改修校舎に移転。昭和63年3月2日白亜の新校舎平岡の台地に完成。3月11日新校舎（現在地）に移転。

（北海道平岡高等学校十周年記念誌より転載）

斯くして、この平岡の地に一千名を越える精銳が集い、文武両道を切磋琢磨する学び舎として道内一の近代的施設・設備を誇る学校として輝かしい伝統への果敢な挑戦が開始されました。

現在、創立二十周年の節目を来年にひかえ、そのためのエネルギーを蓄えています。

**気がついて！  
君の未来は  
無限大**

ここに掲載した「呼びかけ」は、平成13年度、平岡

【標語への思い】

高校生活は、自分の将来を決める大切な時期（自分の力を思いつきり發揮出来る時）。そんな時にこの標語を見て「将来に向けて、



自分の道をいくらでも広げていける」ということを思いい、平岡の生徒がみんな夢へ向けて頑張って欲しいと願いを込めてこの標語を考えました。現在は、一千を越える生徒の憧れとして、校地の北側の柵に横書きの大きな幕が掲げられています。

平成17年7月15・16日

## 第十八回 平岡祭

# 「以心伝べ・みんなで爆発」

最大の学校行事であります第18回平岡祭が「以心伝心・みんなで爆発」をテーマに行われました。

オープニングでは、吹奏楽部が演奏する「ディスコパーティーⅢ」に全校生徒が拍手で応え、平岡祭の雰囲気を一気に盛り上げました。

各クラスが、思い思いの衣装を身に纏い、全員が気持ちを一つにして見事な「舞」を披露しました。3年8組は、見事な出来栄えにより金賞を獲得しました。



平岡祭のオープニング

### 自由市場

クラス毎に、工夫を凝らした店先で、模擬店の定番メニューである「焼き鳥」

### 総合優勝

多くの種目に挑戦し、いずれも優秀な成績を収め総合優勝に輝いたのが3年4組でした。おめでとう！

2年8組  
菊池 葉香

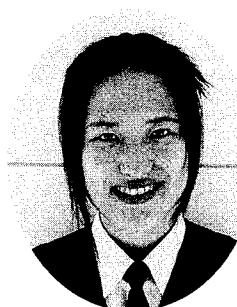
### ★シンボルマーク 大賞



「平岡祭」を盛り上げた実行委員のメンバー

恒例となつたバザーは、3学年が花・ハーブ・新鮮野菜、1・2学年が合同で喫茶コーナーを開き大好評でした。

### PTAのバザー

3年2組  
笛田 友香3年1組  
楓 尚樹

### ★スター誕生 グランプリ

**平成17年度 高体連**

## 激戦区

### 札幌支部の大会を

### 勝ち抜いて



### 最終決戦

平岡高校 陸上部 3年 星野 輝興

高体連大会で、激戦の札幌支部を勝ち抜き、全道大会出場を果たした陸上部の星野輝興君と柔道部の福井智樹君に全道大会出場の思いを語つてもらいましたので、以下に紹介します。



先日、釧路で行われた高体連の全道陸上競技大会で男子走り高跳びに出場しました。

札幌支部大会では、1m 83cmを跳んで2位になりました。全道大会では、6位以内の入賞を目指にして全国大会出場をかけて頑張りましたが、8位という結果で終わってしまいました。

記録的には、5位から8位まで1m 85cmで同じ記録だったのですが、試技の回数で負けてしまい、全国出場には至りませんでした。

全道大会では、かなりの

プレッシャーがありました。が、友人達の応援や先生方のアドバイスもあってリラックスすることが出来ました。

5月下旬、僕は柔道の高体連地区予選大会に出場するため、千歳にいました。

札幌平岡高校は、前日の団体戦で負けていたので、僕が全道大会に出場するには、個人戦で勝ち続けるしかありませんでした。

一回戦は、不戦勝でラッキーでしたが、二回戦は苦

しい戦いでした。口の中を切り、首を痛めて時間切れまで精一杯戦いました。しかし、結果は敗戦でした。

札幌平岡高校は、前日の団体戦で負けていたので、僕が全道大会に出場するには、個人戦で勝ち続けるしかありませんでした。

一回戦は、不戦勝でラッキーでしたが、二回戦は苦

しい戦いでした。口の中を切り、首を痛めて時間切れまで精一杯戦いました。しかし、結果は敗戦でした。

札幌平岡高校は、前日の団体戦で負けていたので、僕が全道大会に出場するには、個人戦で勝ち続けるしかありませんでした。

一回戦は、不戦勝でラッキーでしたが、二回戦は苦



### 最後の高体連

平岡高校 柔道部 3年 福井 智樹



### 宿泊研修を終えて

平岡高校 1年8組 林 佑哉

6月15日から2泊3日で夕張市を研修地として実施した宿泊研修は、僕たち1年生にはとてもためになり、有意義な時間だったと思います。

また、今までの練習で頑張ってきた自分を思い出し、自分に暗示をかけてイメージをつくり跳躍を試みたのです。

例えば、クラスのみんなと一緒に寝泊まりすること

で、お互いの良いところや普段の学校生活では見られ

ない一面を見ることで親密度が上がり、今まで以上にクラスの団結力を高めることが出来ました。

また、集団生活をするうえでのルールやマナーを、再確認することも出来ました。

中には、規則を守れずに

も多少はありました。結果的には良い宿泊研修であったと僕は思います。

今回の宿泊研修で、クラスの団結力が高まったのを活かして、最大の学校行事である【平岡祭】を素晴らしいものにしたいと思い頑張っています。

また、今回得た様々な教訓を、日頃の学校生活や来年の見学旅行に大いに活かしていきたいと考えています。

取り戻しました。

そして、苦戦しつつも勝ち進み、全道大会へのキップを手に入れました。とても嬉しい、疲れました。

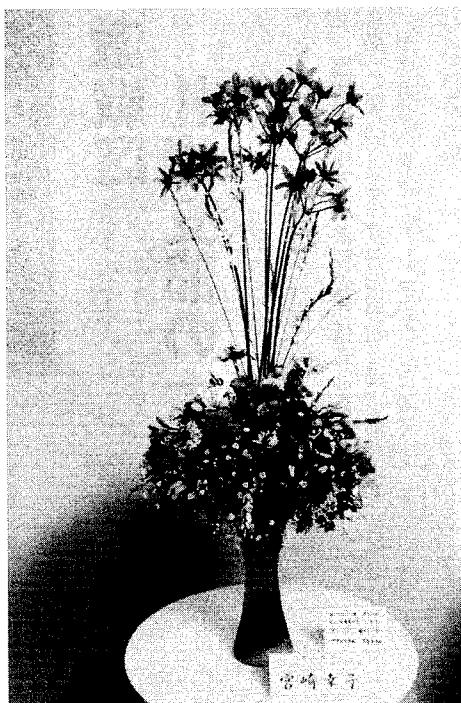
そして6月下旬、釧路の全道大会に出場しました。

二回戦で敗退しましたが、全力を出せたので自分としては良かつたと思います。

卒業した後も、この時の思い出は大切にしていきた

いと思います。

会があるので、これからも頑張りたいと考えています。



華道

札幌支部75周年記念花展  
平岡二条二丁目 宮崎 幸子

華道 平岡二条二丁目 宮崎 幸子 専正池坊



雀らの轡高きに目覚むれば真似ても見たり夏朝ばらく  
終戦時すでに母なき吾が里の今に流るる川のいとしく  
白熱の血潮飛び交う甲子園一球一打の脈うつドラマ  
風鈴の仕舞いし窓は夕映えて秋立つ色に季の音聞こゆ

本紙平成17年1月1日発行の第23号の10ページ上から2段右から5行目の下方・毎日書道展長とあります。すが、正しくは・毎日書道展会友であります。

前号(第24号)の  
訂正とお詫び

## 平岡地区町内会 連合会役員名簿

平岡団地自治会	杉本
平岡親和会町内会	土岐
平岡町内会	政美
パークシティ平岡町内会	木下日出男
平岡第一自治会	森
平岡第二町内会	西
平岡第三町内会	勝利
平岡第五町内会	三浦
平岡北町内会	敏雄
平岡公園町内会	宣昭
平岡小学校前町内会	山崎
平岡雪割草町内会	山下
平岡梅ヶ岡町内会	穗刈
平岡シニアービング町内会	関口
平岡三条団地自治会	俊夫
平岡南団地自治会	岩雄
シニアービング2番館自治町内会	正人
シニアービング9番館町内会	哲雄
シニアービング1番館自治会	仁男
村	横山
阿部	小澤
神代	畠中
八田	菅野
利行	喜生
宏司	嵩
幸三	亮介
光一	岑生

あ  
と  
が  
き

広報誌「ひらおか」も、そうした動きを大切にしていきたいと考えています。

平岡には、幼稚・子育て支援の活動があり、続いて保育・幼稚園の就学準備活動、小・中学校の義務制の教育があつて、後期中等教育機関の札幌平岡高等学校があります。

そして、それぞれの活動が地域との関わりの可能性を開拓しながら、そこから生み出される相乗効果などを期待しながら人間育成の営みが続けられています。

9月1日、10年に一度巡り来る「札幌市総合防災訓練」が、今年は清田区がその栄誉を担い平岡地区を主会場に実施されました。

日本列島が「震災」に神経質になつてゐる昨今、貴重な準体験とまつわる教訓を多く習得でございました。

今回の「特集」に関わつて、ご協力戴きましたこと感謝しております。(渡辺)